

# イネカメムシの発生に注意！

令和8年6月  
芳賀農業振興事務所



イネカメムシの発生が近年拡大しています。  
越冬調査では、芳賀郡各市町で発見されており、被害が懸念されます。

イネカメムシは、出穂期に加害すると稲が**不稔**になります。  
また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質が低下**します。

出穂期

不稔で  
収量低下



乳熟期

基部斑点米で  
品質低下



従来の防除と異なるので注意が必要です

## 出穂期の防除をプラス！

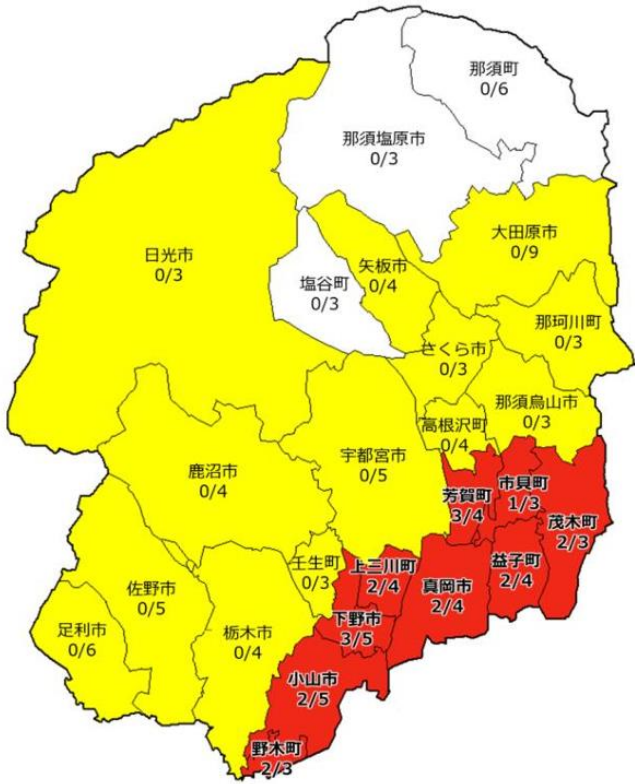
不稔を防止するため、出穂期の防除が必要です。防除時期・回数を見直しを行いましょう。



## 発生予察情報による適期防除

芳賀地域は越冬カメムシが確認されています。被害が懸念されますので、県の予察情報を注視して防除に活かしましょう。

# イネカメムシの発生状況



令和8年2月に行った越冬調査では、芳賀郡の各市町でイネカメムシが確認されました。

前年（令和7年2月）の調査では確認されていなかったことから、今年度、本田発生量の増加が懸念されます。

左図：R8 イネカメムシ越冬確認状況

- 越冬が確認された市町
- 越冬は確認されなかったが、前年の水稲ほ場等で発生を確認した市町

※ 図中の数字は、越冬確認地点数/調査地点数（25市町102地点調査）

# イネカメムシの防除体系

